

国際コンファランスを開催

▼一九八三年以来、日本銀行は、金融研究所において国内外の著名な経済学者や中央銀行関係者を招いた国際コンファランスを開催しています。三〇回目を迎えた今年のコンファランスは、「New Challenges for Monetary Policy」（金融政策の新たな課題）をテーマとして、五月二十七日、二十八日に開催しました。

▼植田和男総裁の開会挨拶、国際決済銀行のアグスティン・カルステンズ総支配人による前川講演（金融研究所発足時（一九八二年）の前川春雄総裁の名を冠したスピーチ）、マサチューセッツ工科大学のアタナシオス・オルファニデス教授による基調講演、ニューヨーク連邦準備銀行のジョン・ウィリアムズ総裁と水見野良三副総裁による特別対談が行われました。このほか、四つの研究発表、金融政策と経済の不確実性・グローバル経済に関するパネル討論が行われ、中央銀行が直面する金融政策の新たな課題について活発な議論が展開されました。



開会挨拶を行う植田和男総裁 (撮影：野瀬勝一)

「ISOパネル(第九回)：店頭デリバティブ取引の市場改革から外為業務等に広がる取引主体識別子(LEI)の活用可能性」を開催(二月)

▼決済機構局では、二月二十六日に標記パネルディスカッションをオンライン形式で開催しました。

▼LEI (Legal Entity Identifier) は、金融取引等の主体を識別するために世界共通ルールのもとで付される識別子(ID)であり、その仕様は国際標準ISO17442シリーズに定められています。グ

ローバルな店頭デリバティブ取引の実態把握のために導入され、日本の取引報告でも昨年義務付けられました。「検証可能なLEI」(ISO17442-3)は、公式文書や取引記録と即時・自動化された身元確認をひもつけるデジタル署名技術であり、将来的なLEIの活用事例の広がりに貢献すると期待されます。

▼当日は、LEIの導入経緯、検証可能なLEIの概要について解説しました。その上で、LEIに金融当局・中央運営機関・付番機関・企業の立場で関与する専門家の方々と、信頼されるLEI体系の構築や、決済・債券発行・貿易・サプライチェーンなど多様な活用領域についてパネルディスカッション形式で議論しました。

▼決済機構局では、金融サービス分野の国際標準化を検討する国際標準化機構(ISO)・金融サービス専門委員会(TC68)の国内委員会事務局を務めています。金融サービス分野の標準化に関心のある方は、日本銀行ホームページに活動内容や取り組みを掲載していますので、ご覧ください。



「FIN/SUM2025」およびイベントを開催(三月)



▼決済機構局では、フィンテックがテーマの国内最大規模のイベント「FIN/SUM2025」（金融庁・日本経済新聞社主催）において、独自企画「決済エコシステムの未来」を開催しました。次の三つの企画に、決済事業者、金融機関、ITベンダー、大学など、三〇以上の企業・団体、二五〇名以上が参加し、決済領域に関する幅広いテーマについて活発に議論しました。

・APIに関するデモ：クラウド上の実験環境「APIサンドボックス」に取り組み有志企業が、APIを利用してサービスを提供するデモを実施するなど、各社の検討成果をプレゼン。また、アプリの実機に触る体験コーナーも設置しました。

・パネルディスカッション：各界の有識者が、デジタル化社会における決済システムの変革、望ましいUI／UX（注）のあり方、各業界における取組内容など、幅広いテーマで議論しました。

・アイデアソン・ハッカソン：来場者を含む約七〇名が、企業の垣根を超えて八つのチームを組成し、AI・ブロックチェーンなど新たな技術を意識したアイデアを整理して、その成果を会場でプレゼンし、競い合いました。

▼また、右記企画の他に、本行職員のリサーチの取り組みを紹介するセッション「CB-Techの最前線」を開催しました。同セッションでは、①デジタル化とわが国の金融、②生成AIが労働市場に与える影響への見方に関する分析、③金融分野における耐量子計算機暗号への移行に向けた検討動向、といったテーマで、金融機構局、金融研究所の職員がプレゼンするとともに、決済機構局の職員も交えて議論しました。

▼決済機構局では、民間事業者などの前向きな取り組みを促す「触媒」の機能を果たしながら、「決済

エコシステムの未来」のために貢献を続けていきます。

（注）User Interface / User Experiencesの略。
顧客接点／顧客体験を表す。

金融高度化センター 設立二〇周年記念 ワークショップを開催

▼金融機構局金融高度化センターは、本年七月に設立二〇周年を迎えます。これを記念し、一月三十一日に日本銀行本店において、「デジタル化とわが国の金融の未来」をテーマとするワークショップを開催しました（オンライン・ライブ配信も併用）。

▼デジタル技術の普及は、金融機関にとって、業務効率化や新たな金融サービス提供の機会となると同時に、新たなリスクの源泉にもなります。金融機関は、これまでも、スマートフォンなどのデジタル・チャネルや、クラウド、分散型台帳技術などを利用して、業務の効率化や、提供するサービスの高付加価値化を図ってきました。足もとでは、生成AIの利用拡大などにより、こうした流れが加速しているようにうかがわれます。同

時に、金融機関は、サイバーセキュリティなど新しい技術がもたらすリスクについても、十分に認識しておく必要があります。

▼このような環境認識の下、今回のワークショップでは、金融・テクノロジー・学術の各界の第一人者の方々に多数ご登壇いただき、デジタル化とわが国の金融の未来について議論しました。

▼当日の議論の要旨やプレゼンテーション資料等は、日本銀行ホームページをご覧ください。



「第二回日銀グランプリ」 小論文募集

▼日本銀行では、大学生の皆さんが金融・経済に関心をもち、わが国の金融・経済の現状と将来について、自分たちの問題として考えてもらうきっかけになればとの思いから、二〇〇五

年度より小論文コンテスト「日銀グランプリ」を開催しています。

▼第二回目の開催となる今年度のテーマは「わが国の金融・経済への提言、日銀への提案」です。成長型経済への移行を確実なものにするための提言や、日本銀行の政策や業務をより効果的に行うための提案など、現状を的確に評価し、未来に向けた学生らしい提言・提案を小論文にまとめ、ご応募ください。

▼なお、募集要項や過去の決勝大会の模様などは、日本銀行ホームページをご覧ください。



編集後記

■ 近年は河村選手、八村選手、渡邊選手とNBAで活躍する日本人選手のニュースを見る機会が増えましたが、わずか20年ほど前までは、日本人がNBAの舞台でプレーすることは夢物語と思われていました。今回のインタビューでは、その壁に果敢に挑戦し、日本人初のNBAプレーヤーとして扉を開いた田臥勇太選手にお話を伺いました。

■ 田臥選手ご自身のたゆまぬ努力と強い意志はもちろんのこと、さまざまな方との出会いがNBAへの道を拓いていったこと、そして現在所属する宇都宮ブレックスや日本バスケット界への思いを率直に語っていただきました。

■ その宇都宮ブレックスは、シーズン中にケビンヘッドコーチが急逝する中、悲しみを乗り越え3度目のBリーグ優勝を飾りました。チャンピオントロフィーを掲げた田臥選手ははじけるような笑顔！ 琉球ゴールデンキングスとの決勝は最後の1秒まで勝負の行方が分からない激闘で、バスケの魅力がギュッと詰まっていた。

■ そんな名勝負でも、ニュースでの優先度は野球やサッカーにはまだ及ばないようです。それでも、こうした素晴らしいプレーや勝負を続けていくことで、バスケが日本の文化の一つになる日が必ず来ることを確信させてくれるシーズンの終わりでした。
(小牧)

[アンケート募集中]

「にちぎん」に関するご意見・ご感想は、アンケートよりお寄せください。日本銀行のホームページからインターネットでもアンケートにご回答いただけます。



※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDF ファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。(https://www.boj.or.jp/about/koho_nichigin/index.htm)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (https://www.boj.or.jp) をご覧ください。

にちぎん 2025年夏号
編集・発行人 小牧義弘
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-1947

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社アイネット
禁無断転載

「日銀春休み親子見学会」を開催

▼「日銀って何をしているところ?」「日銀ってどんなところ?」、そのようなお子さまの好奇心に応えるため、お子さまに楽しく学んでいただくイベント「親子見学会」を開催しています。

▼本店では、三月二十七日、二十八日に、小学四年生〜中学生およびその保護者の方を対象とした「日銀春休み親子見学会二〇二五」を開催しました。

▼見学会では、本館見学やお札に関する体験学習などのプログラムにご参加いただきました。参加者からは「親子で楽しめるプログラムが充実していて楽しかった」などの感想が寄せられました。

▼次回の開催は、夏休み期間中を予定しています。

▼過去の親子見学会の様子は、日本銀行ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。



国の重要文化財に指定されている本館を見学



お札に隠された偽造防止技術「マイクロ文字」や「すかし」は見つかりましたか?